

## 登壇者略歴

---

### 鈴木 政浩（すずき まさひろ）

所属 役職

日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門

櫛葉遠隔技術開発センター 副センター長

兼 モックアップ試験施設部長



- 
- 1989 年～：動力炉・核燃料開発事業団（現日本原子力研究開発機構）入社。再処理工場の放射性同位元素低減に向けた先端技術（レーザ法）による軽元素同位体分離（C14）に関する研究開発等に従事
  - 1996 年～：東京本社（プルトニウム燃料開発室）にて核燃料サイクルに係る計画立案等を始め、マイナーアクチノイド燃料（Np, Am, Cm）の計画検討に従事
  - 1998 年～：ロシア解体核処分（バイパック）に係る国際共同研究（RIAR）対応として、振動充填燃料（バイパック、スフェアパック）の研究開発及びスフェアパック燃料開発に係る PSI 共同研究対応に従事
  - 1999 年～：次世代燃料サイクルに向けたマイナーアクチノイド含有スフェアパック燃料に関する白色光レーザによる粒子形状計測（真球度評価）の研究（2002 年 3 月：工学博士取得）
  - 2005 年～：FaCT（FBR サイクル実用化研究開発）プロジェクトにおける次世代燃料製造開発として、簡素化ペレット法の技術開発に従事
  - 2013 年～：プルトニウム燃料技術開発センター計画管理課長、組織運営・計画策定に従事
  - 2013 年～：高速増殖炉研究開発センター（もんじゅ）プラント保全部電気保修課長として、運転再開に向けた保全プログラムの運用及び現場のプラント管理等に従事
  - 2016 年～：バックエンド研究開発部門核燃料サイクル工学研究所の計画管理室長として、研究所全体の計画策定・管理等に従事
  - 2020 年～：櫛葉遠隔技術開発センターに係る組織運営、計画管理等に従事
  - 2021 年～：廃炉・汚染水対策事業費補助金に係る補助事業（被ばく低減のための環境・線源分布のデジタル化技術の開発）に係るプロジェクトマネージャに従事
- 